

研究課題名	新生児の動静脈一酸化ヘモグロビン (COHb)濃度差による出生後早期呼吸障害の評価
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 新生児内科 氏名 中村 利彦
研究期間	2024年本申請の許可を得た月 ～ 2024年9月
研究の意義・目的	NICUに出生後早期から入院する際、入院時の血液検査、それに引き続き点滴確保を行う。その際に、血液ガス分析は検査項目として必須である。点滴確保の際に血管確保した直後にごく少量の逆行性の静脈血が得られることがあり、動脈血液ガスに加えて静脈血ガス分析を行い得ることがある。その際、動静脈での格差のあるパラメーターの1つにCOHb値を認めた。加えて、その格差が呼吸障害の程度により異なることが予想された。今回後方視的検討により動静脈COHb値の差から呼吸障害の程度を予測可能かを検討し、臨床研究として論文化して拡声したい。
研究の方法 (対象期間含む)	2015. 1. 1～2023. 12. 31までの9年間に当院で出生し、出生後早期にNICUに入院した児を対象に、その中で、入院時検査として動脈血ガス分析を測定後、30分以内に点滴確保した際に静脈血ガス分析を行い得た児を抽出する。患者カルテに保存されている、動静脈血液ガス分析の結果から、COHb、pH、PCO ₂ 、乳酸値を確認する。児の在胎週数、出生体重、性別、主たる病名も同時に確認する。エクセルに患者毎に集積して、呼吸障害の程度により3群に児を分類した後、統計学的分析を行う。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①本研究に関わる全ての研究者は、「ヘルシンキ宣言」および「人と対象とする生命科学・医学的研究に関する倫理方針」を遵守して実施する。 研究実施に係る情報を取り扱う際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮する。併せて研究独自の番号と研究対象者の個人情報との対応表を作成して保管する。研究の結果を報告する際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含めないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。 ②血液ガス分析の結果から得られた、pH、PCO ₂ 、乳酸濃度、一酸化ヘモグロビン(COHb) 患者カルテ内容から、呼吸障害の程度(重症、中等症～軽症、呼吸障害なし) 患者情報：在胎週数、性別、出生時体重、呼吸器疾患病名 ③研究責任者 ④武蔵野赤十字病院 新生児内科 中村利彦
問合せ先	当研究に自分の情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 新生児内科 氏名 中村 利彦 TEL：0422-32-3111 (代表) 8195 (内線) FAX：0422-32-3525

